

利用者用マニュアル

目次

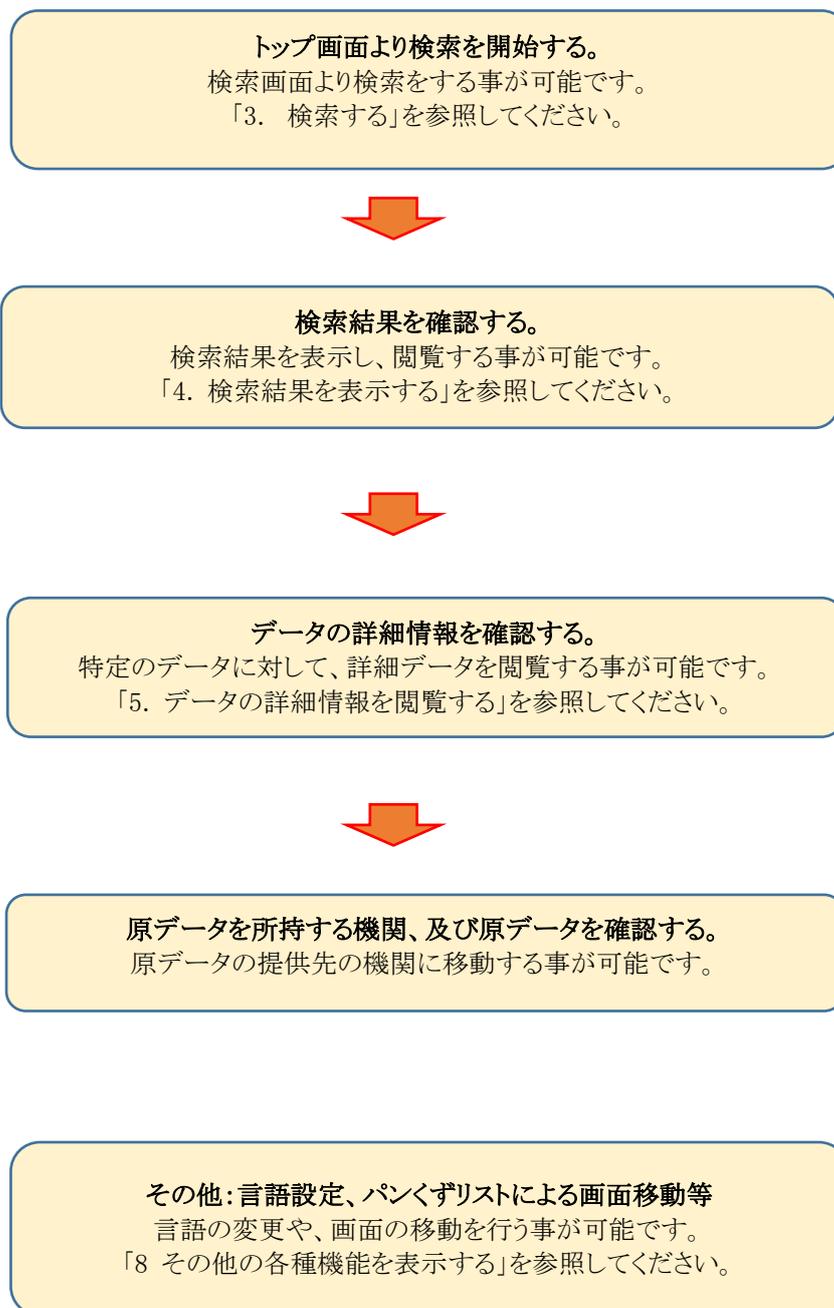
1. はじめに	2
1.1 主な利用の流れ	2
2. TOP 画面	3
3. 検索する	4
3.1 一般的に検索する場合	4
3.2 詳細に検索する場合	10
3.3 検索履歴から過去の検索条件を入力する場合	24
4. 検索結果を表示する	25
4.1 検索結果画面の構成	25
4.2 検索結果画面(スニペット形式)を表示する	26
4.3 検索結果画面(表形式)を表示する	27
4.4 検索結果画面(空間表示)を表示する	28
4.5 検索結果画面(時間表示)を表示する	29
5. データの詳細情報を閲覧する	30
6. 再検索をする	31
7. お知らせ画面を表示する	32
7.1 お知らせ画面を表示する	32
7.2 お知らせ一覧を表示する	33
8. その他の各種機能を表示する	34
8.1 パンくずリストを利用する	34
8.2 「初めての方へ」を表示する	35
8.3 言語を選択する	35

1. はじめに

ここでは主な利用方法の流れについて説明致します。

1.1 主な利用の流れ

主な利用の流れは、次の通りです。詳細については後述の各項目をご確認ください。



2. TOP 画面

トップ画面について説明します。
トップ画面では以下の作業が可能です。

- ①検索
指定したキーワードの検索をする事が可能です。
- ②Pick Up 記事の表示
サムネイルをクリックする事で、詳細画面を表示する事が可能です。
- ③News の確認
お知らせ内容を確認する事が可能です。
- ④言語の変更
日本語、英語の言語切り替えを行う事が可能です。



3. 検索する

トップ画面上部の検索画面より、検索したい内容を入力し、検索を実行します。

3.1 一般的に検索する場合

一般的な検索方法は、テキストボックスにキーワードを入力し、検索ボタンをクリックする事で行います。

また検索対象のデータベースを選択する事で、データベースを絞り込んで検索する事が可能です。詳細については「3.1.2 検索対象のデータベースを選択する」を参照して下さい。



3.1.1 検索内容を入力する

検索画面のテキストボックスに「キーワード」を入力します。

キーワード検索 (例: 古今和歌集)

文化

検索

時間検索

空間検索

時間・空間で検索する

キーワード検索では、以下の論理演算が使用可能です。

【AND 条件】

キーワードを半角または全角スペースで区切ることで、すべてのキーワードに一致するものを検索します。

【OR 条件】

キーワードを「|」(全角または半角の縦棒)で区切ることでいずれかのキーワードに一致するものを検索します。

【NOT 条件】

キーワードを「！」(全角または半角の感嘆符)で区切ることで「！」の前のキーワードに一致し、後ろのキーワードには一致しないものを検索します。

※入力されたキーワードは異体字も検索対象となります。例.)キーワード「龍」で検索した場合は、「龍」または「竜」が含まれるレコードがヒットします。

※完全一致条件で検索する際は半角ダブルコーテーション「"」でキーワードを囲みます。この場合、指定されたキーワードの異体字は検索対象となりません。

3.1.2 検索対象のデータベースを選択する

検索対象のデータベースを選択します。

データベースの選択は個別、または一括で選択する事が可能です。

【個別でデータベースを選択する場合】

データベース名の左にあるチェックボックスをクリックします。

チェック済のチェックボックスをクリックする事で、チェックを解除する事が可能です。

機関別 種類別 研究分野別 目的別 ランキングから探す キーワードで探す

全選択 選択解除 全グループを開く 全グループを閉じる

<input checked="" type="checkbox"/> 国立歴史民俗博物館	<input checked="" type="checkbox"/> 国立民族学博物館
<input checked="" type="checkbox"/> 国文学研究資料館	<input checked="" type="checkbox"/> 地域研究拠点
<input checked="" type="checkbox"/> 国立国語研究所	<input checked="" type="checkbox"/> 国立国会図書館
<input checked="" type="checkbox"/> 国際日本文化研究センター	<input checked="" type="checkbox"/> 京都大学東南アジア地域研究研究所
<input checked="" type="checkbox"/> 総合地球環境学研究所	

チェックボックス

データベース

【一括でデータベースを選択する場合】

画面上部のデータベース選択ボタンをクリックする事で一括選択、及び解除をする事が可能です。



- ①全選択:データベースグループセット単位において、データベース名の全選択が可能です。
- ②選択解除:データベースグループセット単位において、データベース名の選択の全解除が可能です。
- ③全グループを開く:データベースグループに含まれているデータベース名を全て表示します。
- ④全グループを閉じる:データベースグループに含まれているデータベース名を全て非表示にします。

またデータベースを絞り込んで検索する事が可能です。

この項目の詳細に関しては「3.2.2 検索対象のデータベースを選択する」を参照してください。

3.1.3 検索を実行する

入力された検索条件に関して、検索を行う事が可能です。

3.1.3.1 検索する

テキストボックスに検索キーワードを入力し、検索ボタンをクリックします。



検索後、検索結果が一覧表示画面(スニペット形式)で表示されます。
 一覧表示画面の詳細に関しては「4.1 検索結果画面の構成」を参照して下さい。



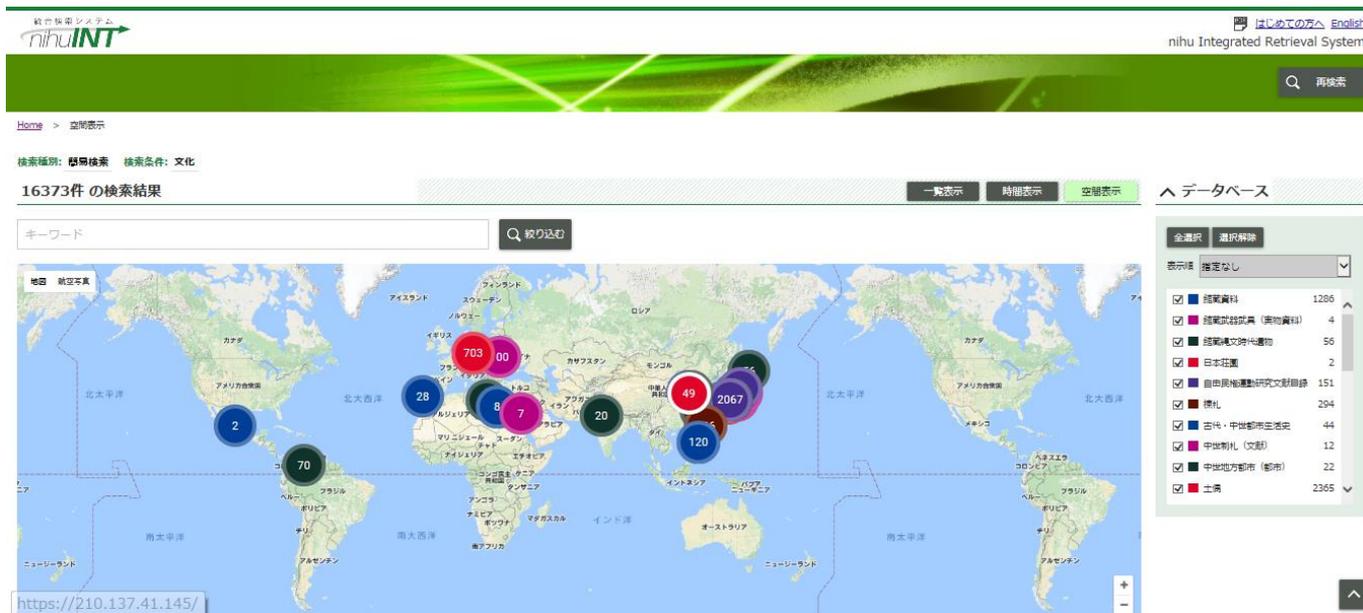
3.1.3.2 空間検索する

検索結果を空間表示する事が可能です。



キーワードを入力後に、「空間検索」ボタンをクリックする事で、空間検索を行う事が可能です。

検索後、検索結果が検索結果画面(空間表示)で表示されます。
詳細に関しては「4.4 検索結果画面(空間表示)を表示する」を参照して下さい。



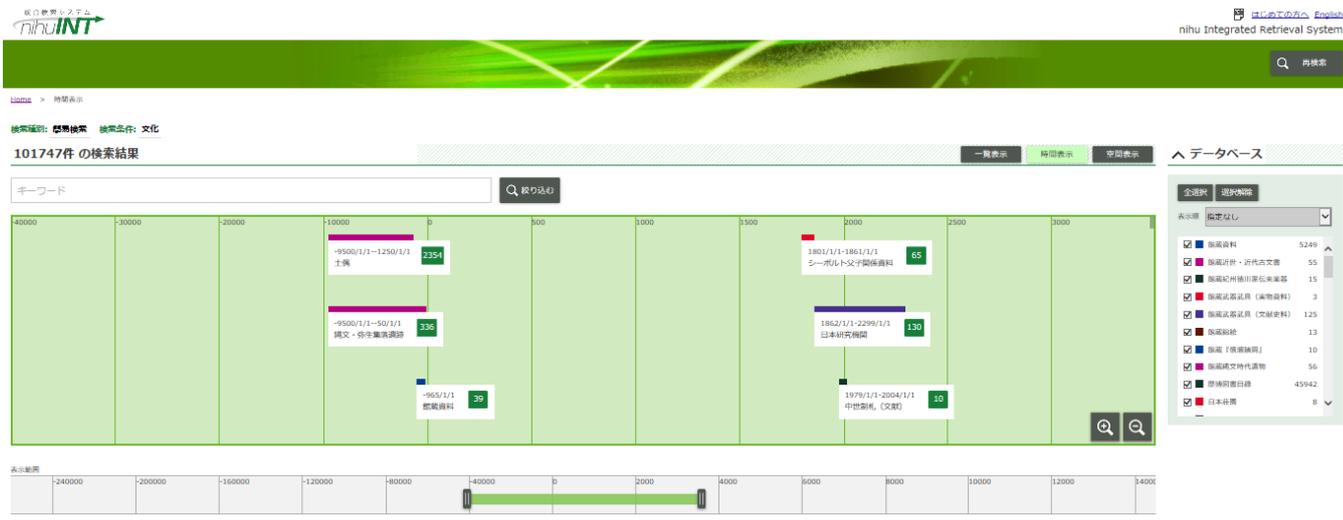
3.1.3.3 時間検索する

検索結果を時間表示する事が可能です。



キーワードを入力後に「時間検索」ボタンをクリックする事で、時間検索を行う事が可能です。

検索後、検索結果が検索結果画面(時間表示)で表示されます。
詳細に関しては「4.5 検索結果画面(時間表示)を表示する」を参照して下さい。



3.2 詳細に検索する場合

詳細検索では、検索条件を種別毎や検索一致方式を用いて絞りこむ事が可能です。

詳細検索ボタン

簡易検索

詳細検索

検索履歴

すべて

AND

AND

AND

AND

すべて

名称・主題

人物・組織

時期・日付

地域・場所

部分一致

部分一致

部分一致

部分一致

部分一致

条件値を入力して下さい

条件値を入力して下さい

条件値を入力して下さい

条件値を入力して下さい

条件値を入力して下さい

論理検索

時間範囲を指定

空間範囲を指定

時間・空間で検索する

検索

時間検索

空間検索

時間、空間範囲の指定

検索ボタン

キーワード検索では、以下の論理演算が使用可能です。

【AND 条件】

キーワードを半角または全角スペースで区切ることで、すべてのキーワードに一致するものを検索します。

【OR 条件】

キーワードを「|」(全角または半角の縦棒)で区切ることでいずれかのキーワードに一致するものを検索します。

【NOT 条件】

キーワードを「!」(全角または半角の感嘆符)で区切ることで「!」の前のキーワードに一致し、後ろのキーワードには一致しないものを検索します。

※入力されたキーワードは異体字も検索対象となります。例.)キーワード「龍」で検索した場合は、「龍」または「竜」が含まれるレコードがヒットします。

※完全一致条件で検索する際は半角ダブルコーテーション「"」でキーワードを囲みます。この場合、指定されたキーワードの異体字は検索対象となりません。

3.2.1 検索内容を入力する

詳細検索では、以下の条件を設定する事が可能です。

- ①複数検索条件の設定
- ②複数検索条件間での連結条件の設定
- ③検索対象範囲の設定
- ④一致条件の設定

簡易検索			詳細検索
▼	すべて ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい
ANC ▼	名称・主題 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい
ANC ▼	人物・組織 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい
ANC ▼	時期・日付 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい
ANC ▼	地域・場所 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい

- ①複数検索条件の設定

複数の検索条件を設定する事が可能です。

簡易検索			詳細検索
▼	すべて ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい
ANC ▼	名称・主題 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい
AND ▼	人物・組織 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい
ANC ▼	時期・日付 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい
ANC ▼	地域・場所 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい

- ②複数検索条件間での連結条件の設定

2行目以降の列に対して、以下3つの選択肢から選択することが可能です。

- 1.AND: 上位行に表示された条件と、当行の条件のうち、両方に該当するものを検索します。
※初期値は「AND」表示です。
- 2.OR: 上位行に表示された条件と、当行の条件のうち、いずれかに該当するものを検索します。
- 3.NOT: 入力した条件を含まないものを検索します。

簡易検索			詳細検索	
▼	すべて ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい	
ANC ▼	名称・主題 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい	
ANC ▼	すべて	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい	
ANC ▼	名称・主題	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい	
ANC ▼	人物・組織	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい	
ANC ▼	時期・日付	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい	
ANC ▼	地域・場所	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい	
ANC ▼	地域・場所 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい	

③検索対象範囲の設定

プルダウンをクリックする事で、以下の中から検索対象範囲を絞り込む事が可能です。

- 1.すべて
- 2.名称・主題
- 3.人物・組織
- 4.時期・日付
- 5.地域・場所

簡易検索			詳細検索	
▼	すべて ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい	
ANC ▼	名称・主題 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい	
ANC ▼	人物・組織 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい	
ANC ▼	時期・日付 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい	
ANC ▼	地域・場所 ▼	部分一致 ▼	条件値を入力して下さい	
時間範囲を指定 ▼				
空間範囲を指定 ▼				

④一致条件の設定

検索一致方式は以下から選択可能です。

- 1.部分一致※初期値は「部分一致」表示です。
- 2.前方一致
- 3.後方一致
- 4.完全一致

3.2.2 検索対象のデータベースを選択する

検索対象のデータベースを、以下の機能を用いて絞り込み選択する事が可能です。

3.2.2.1 データベースグループセットを選択する

検索したいデータベースグループセットを選択する事が可能です。
以下のデータベースグループセットから選択する事が可能です。

- ①機関別
- ②種類別
- ③研究分野別
- ④目的別

※データベースグループセットは変更される場合があります。



データベースグループセットを選択する事で、各データベースグループセットに含まれるデータベース名を表示する事が可能です。

3.2.2.2 データベースの解説を表示する

各データベースには、データベースの説明機能があります。
データベースグループのフォルダをクリックすると、データベース一覧が表示されます。



「解説」ボタンをクリックする事で、データベースの説明文が表示されます。



また「データベース名」に表示されている「原データベース」のリンクをクリックする事で、原データベース画面に遷移する事が可能です。

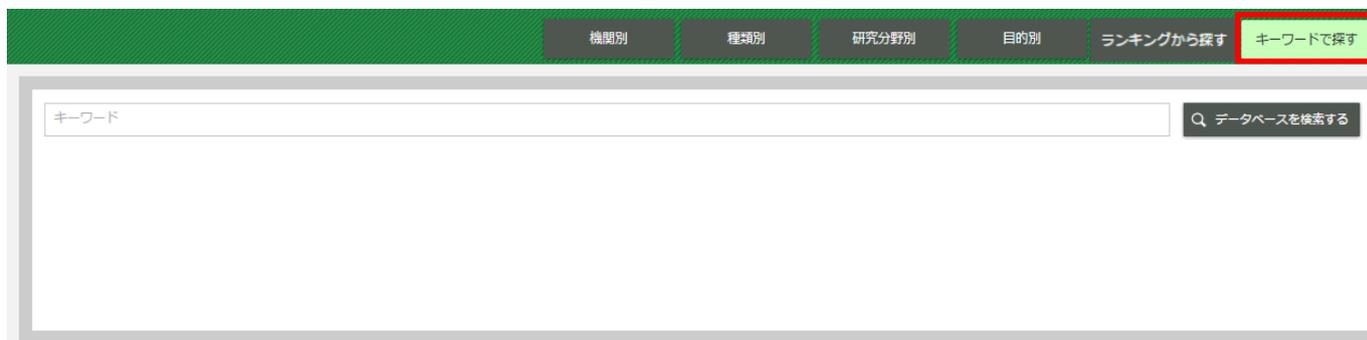
3.2.2.3 ランキングからデータベースを探す

先月の閲覧実績をもとに使用頻度の高いデータベースをランキングとして表示します。
ランキングからデータベースを検索する事で、普段からよく使用されているデータベースから検索する事が可能となります。



3.2.2.4 キーワードからデータベースを探す

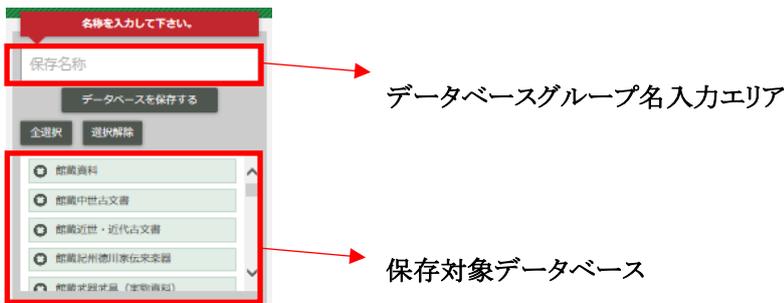
キーワードを入力する事で、そのキーワードが含まれるデータベース名の検索を行う事が可能です。



3.2.3 頻繁に利用するデータベースを端末に保存する

3.2.3.1 頻繁に利用するデータベースのグループを作成し端末に保存する

現在選択中のデータベースを、頻繁に検索に使用するデータベースのグループとして、端末のローカルストレージに保存しておく事が可能です。
保存対象となるデータベースは、画面左側に一覧表示されているものが対象となります。



- ① データベースを保存する
データベースグループ名をテキストボックスに任意で入力し、「データベースを保存する」ボタンをクリックします。
- ② 全選択
データベースを一括で全選択する事が可能です。
- ③ 選択解除
データベースを一括で選択解除する事が可能です。

3.2.3.2 保存済みのデータベースを選択する

「保存済みデータベース」をクリックすると、保存済みのデータベースが表示されます。クリックすることで、検索対象のデータベースとして選択することが可能です。

データベースは 10 件まで登録する事が可能です。

※保存されたデータベースを削除する場合には「削除する」ボタンをクリックし、「はい」をクリックします。

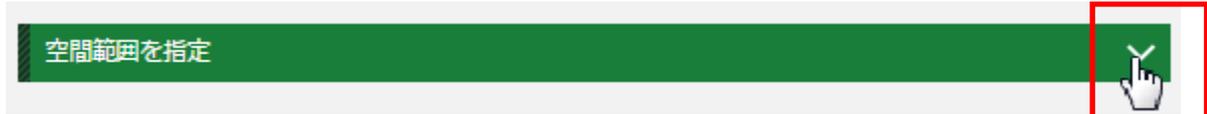


3.2.4 空間検索、時間検索範囲を指定する

詳細検索では、空間検索、または時間検索の検索範囲を指定する事が可能です。

3.2.4.1 空間検索範囲を指定する

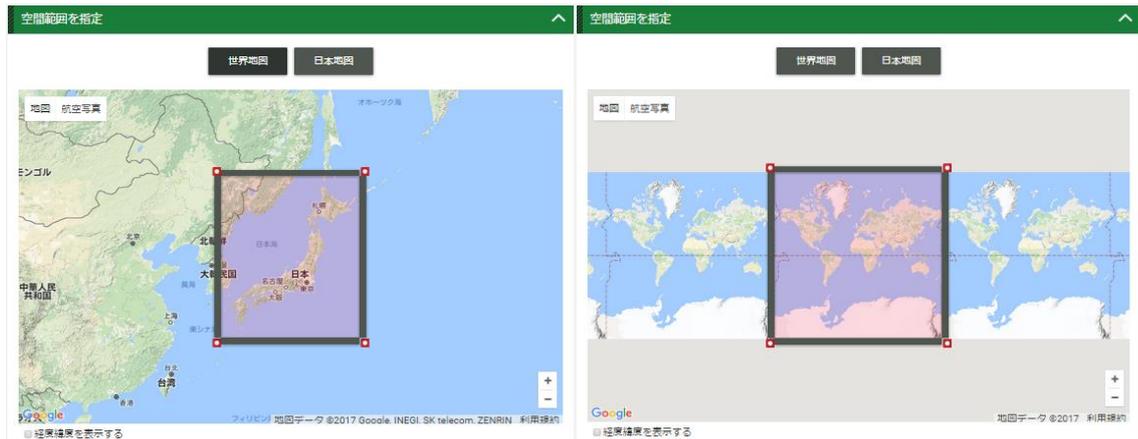
「空間範囲を指定」のタブをクリックすることで空間範囲指定エリアが開き、条件指定可能となります。
 ※空間範囲指定エリアが閉じている状態は、条件指定が無効となります。



初期設定では日本地図が中心に表示されます。
 「世界地図」ボタンをクリックすると、世界地図に切り替える事が可能です。
 ※地図を切り替えると、座標入力クリアされます。

日本地図

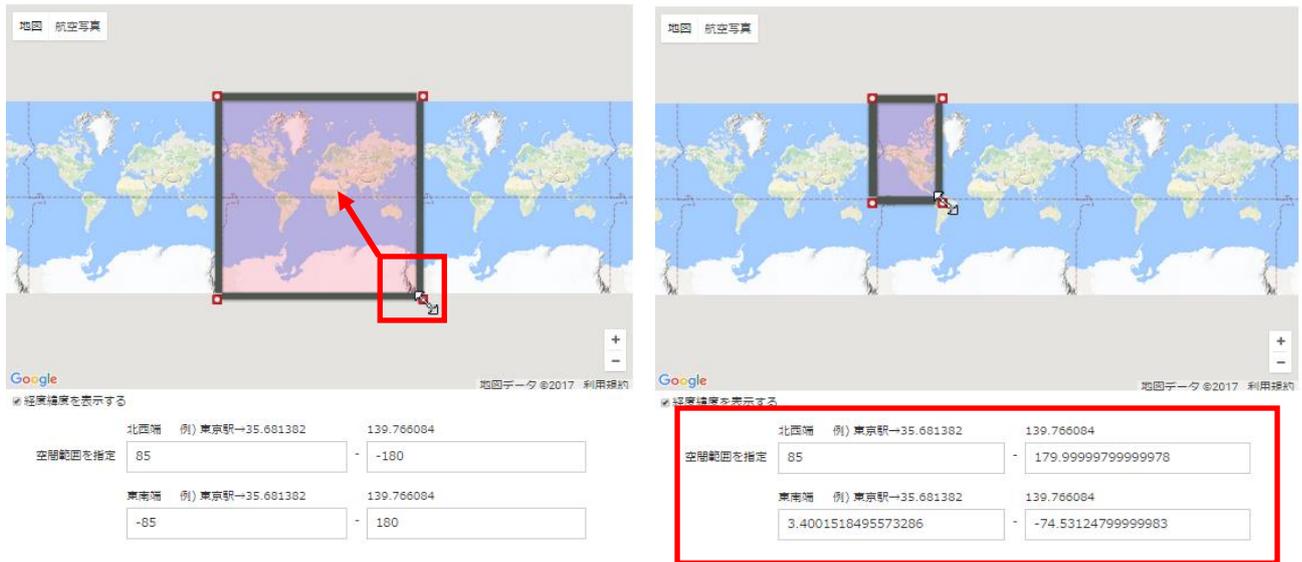
世界地図



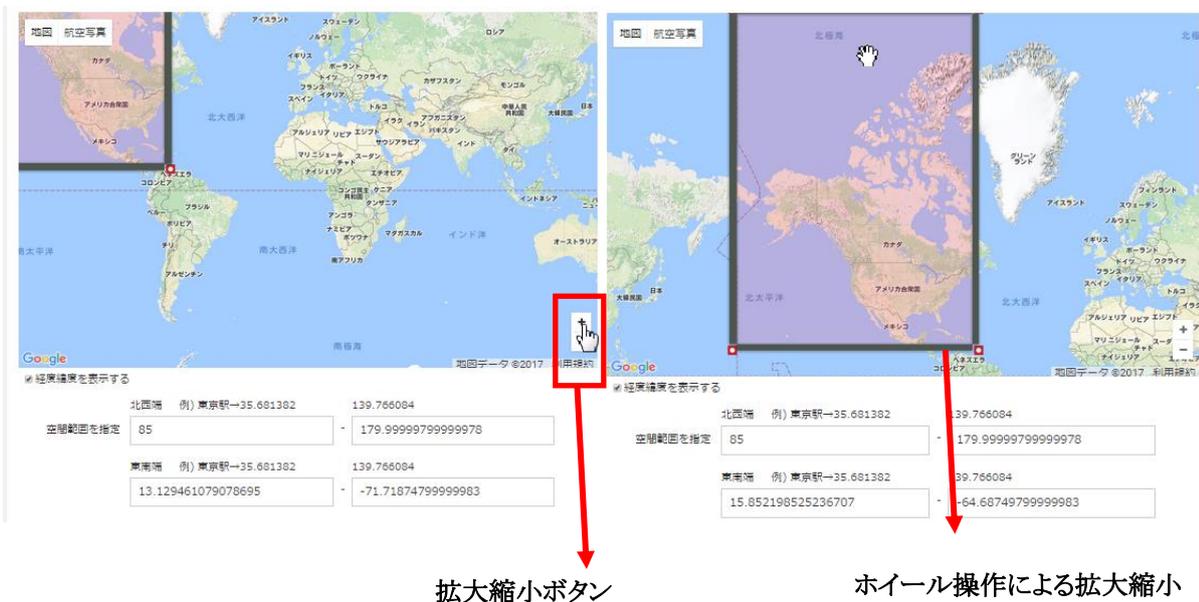
「緯度経度を表示する」をクリックすると、北西端と東南端の緯度経度が表示されます。
 緯度経度の数値は、枠の指定範囲に連動して自動入力されます。



空間条件を指定するには、以下の操作を行います。

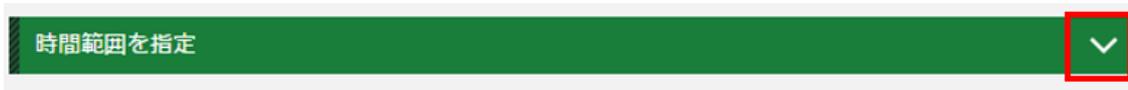


- ① 枠をドラッグすることで、検索範囲を指定します。
枠の内側にマウスポイントを移動すると、指定範囲が縮小し、外側に移動すると拡大します。
- ② ドラッグが完了すると、空間範囲のパラメータは、指定範囲移動後に連動して自動入力されます。
- ③ 検索範囲の拡大縮小にはホイール操作を行うか、右下の拡大縮小アイコンをクリックします。
ホイール操作による拡大縮小では、マウスポイントを中心にして拡大縮小を行う事が可能です。
※ 枠の緯度経度は固定されている為、地図の拡大縮小後も緯度経度は固定となります。



3.2.4.2 時間検索範囲を指定する

「時間範囲を指定」のタブをクリックすることで時間範囲指定エリアが開き、条件指定可能となります。
 ※時間範囲指定エリアが閉じている状態は、条件指定が無効となります。



時間指定画面が表示されます。
 検索範囲は、-60000年から3000年までの期間で指定する事が可能です。
 ※初期設定では-60000年から3000年の期間で設定されています。



上段の範囲指定スライダで年代幅を変更すると、下段の詳細範囲指定バーが連動して自動更新されます。
 下段の詳細範囲指定バーでは、開始年と終了年の年代を数年単位で指定可能です。

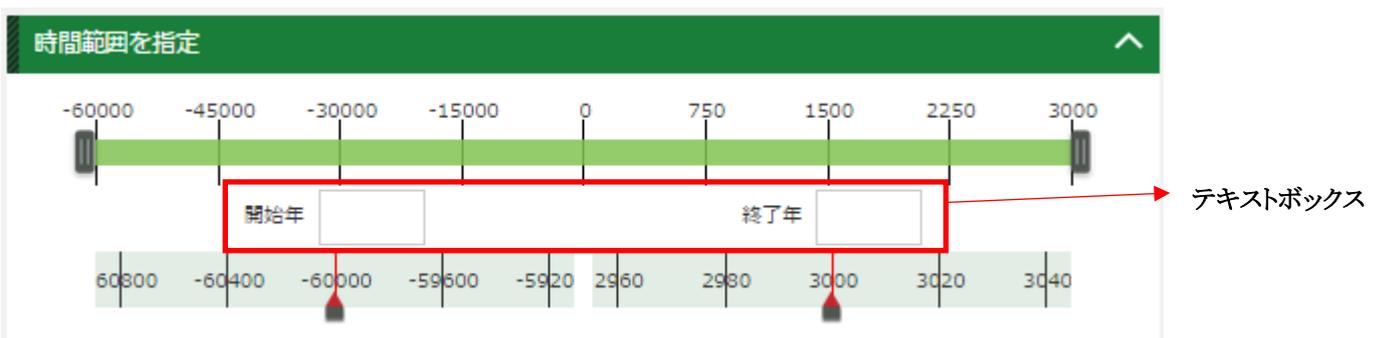
時間範囲を指定する場合には、以下の2通りの方法があります。

- ①手動で時間範囲を入力する。
- ②範囲指定バーを移動して、時間範囲を指定する。

【手動で時間範囲を指定する場合】

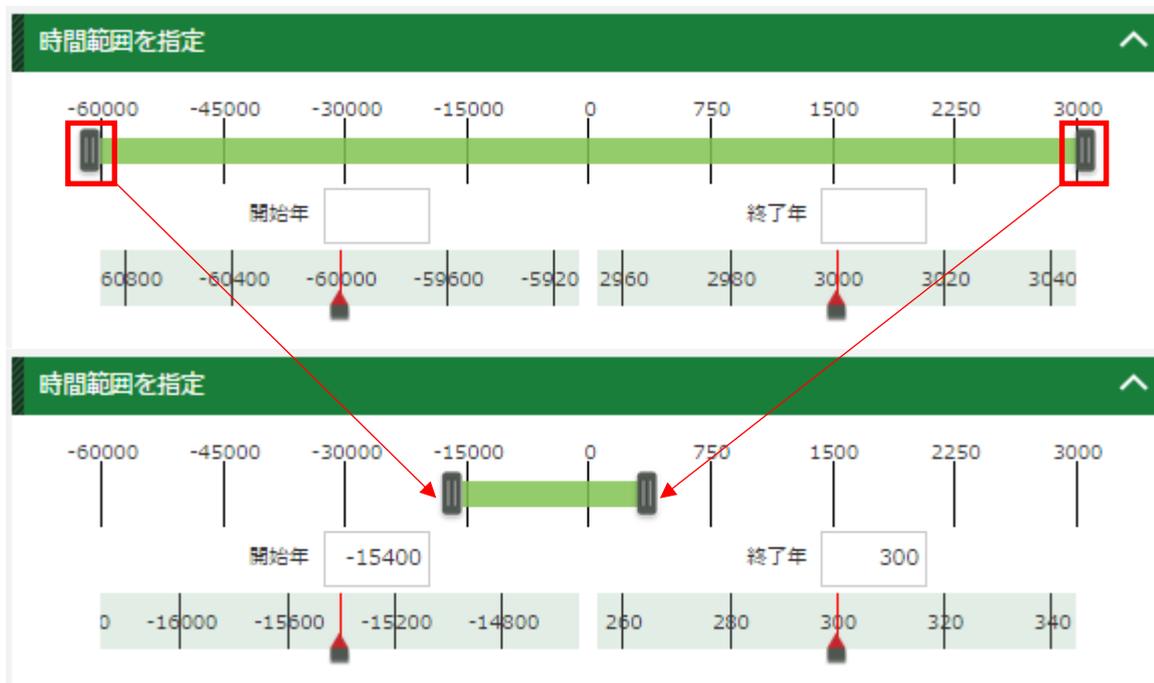
テキストボックスに直接、検索開始年と終了年を入力します。
 上段の範囲指定バーと下段の詳細範囲指定バーは、入力年に連動して自動で更新されます。

開始年のみ、もしくは終了年のみ入力した場合の検索も可能です。
 開始年のみ入力: 指定した開始点以降のすべての年代を検索対象とします。
 終了年のみ入力: 指定した終了年以前のすべての年代を検索対象とします。

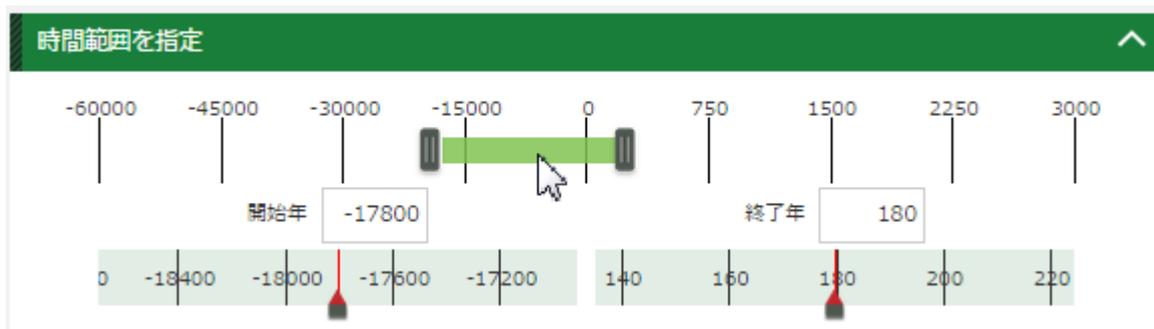


【範囲指定バーを移動して、時間範囲を指定する。】

範囲指定バーを移動する事で、時間範囲指定を行うことが可能です。



- ① 左側の指定範囲スライダを移動し、検索期間の開始年を指定します。
- ② 右側の指定範囲スライダ移動し、検索期間の終了年を指定します。
- ③ 範囲指定バーをドラッグして左右に移動させると、時間幅を一定のままで開始年と終了年を変更することが可能です。
- ④ 詳細範囲指定バーで、開始年、終了年の数年単位での指定をすることが可能です。



3.2.5 検索を実行する

3.2.5.1 検索する

詳細条件を入力後に検索を実行します。
 検索項目を入力後に、右下の「検索」ボタンをクリックします。

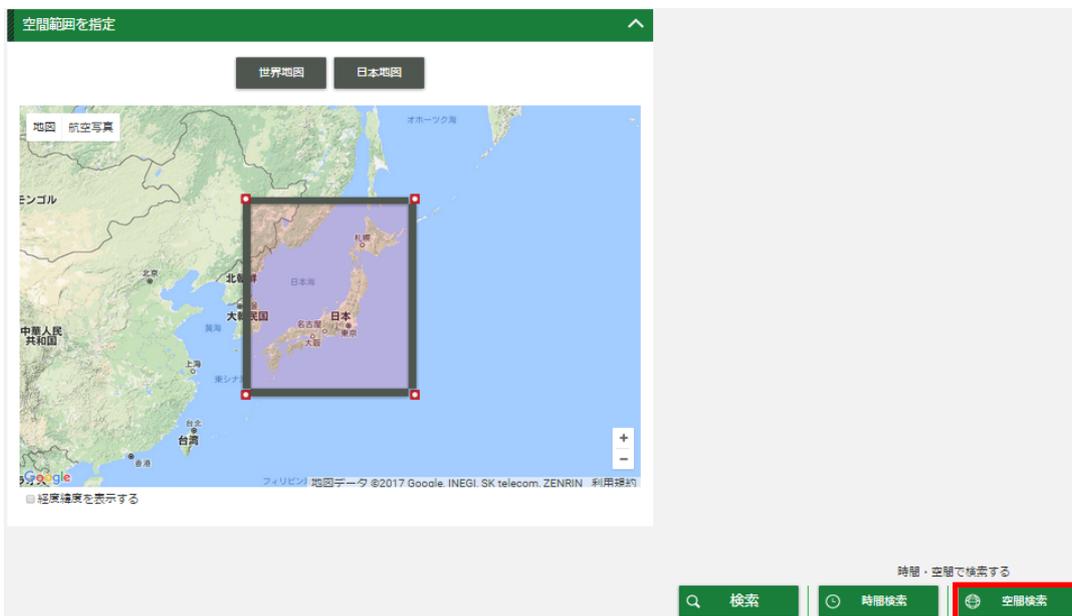


「検索」ボタンをクリックすると検索結果画面(スニペット形式)が表示されます。

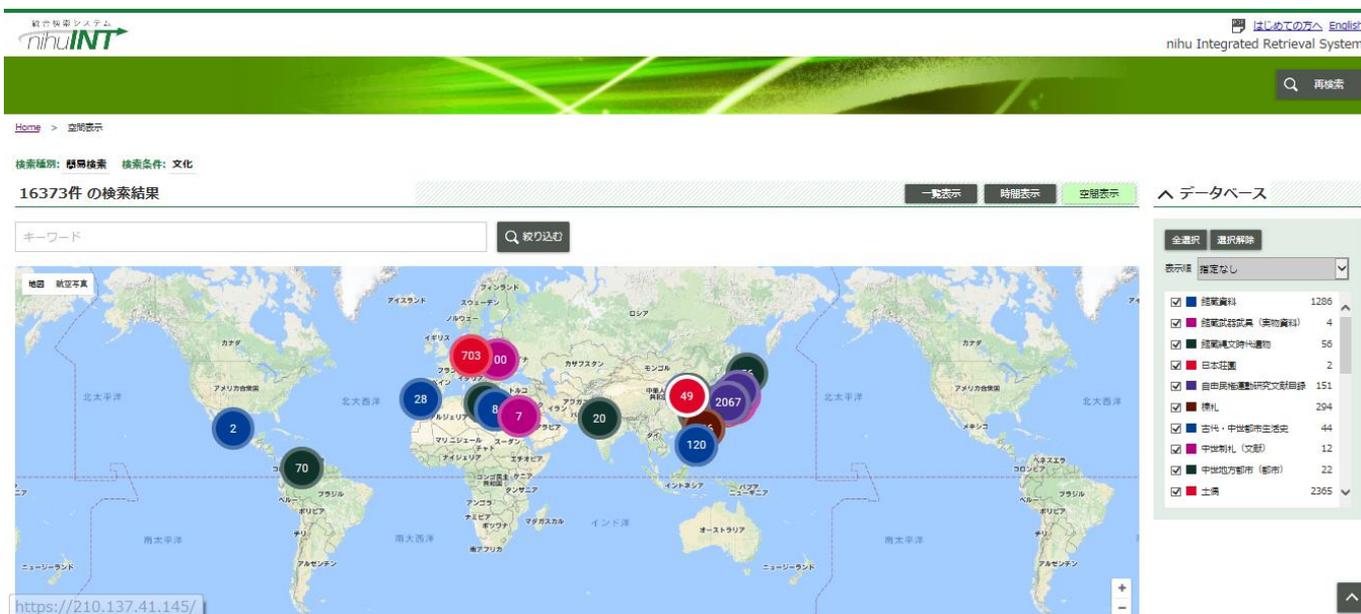


3.2.5.2 空間検索をする

空間範囲を指定後に、右下の「空間検索」ボタンをクリックします。

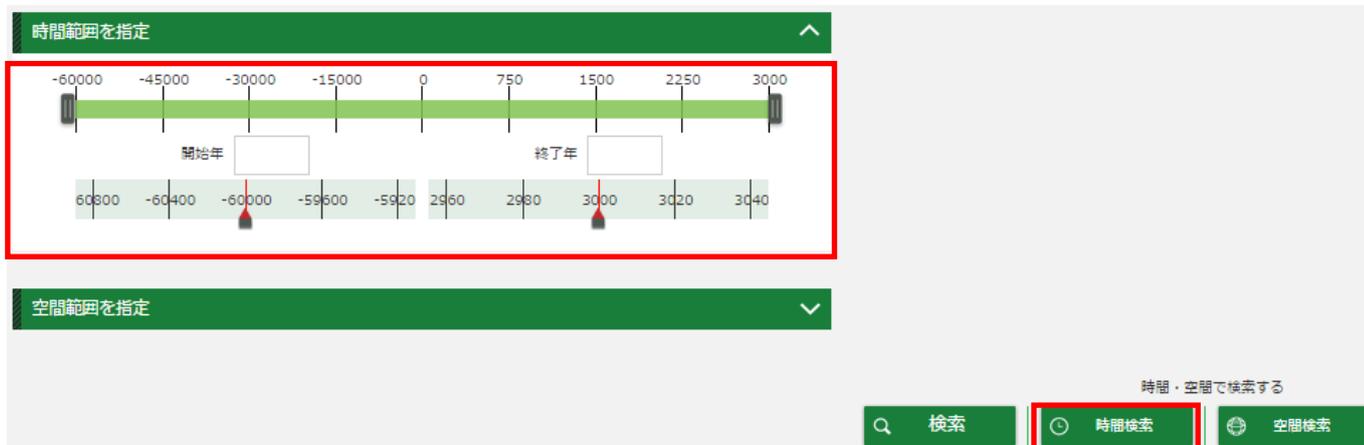


「空間検索」ボタンをクリックすると検索結果画面（空間表示）が表示されます。

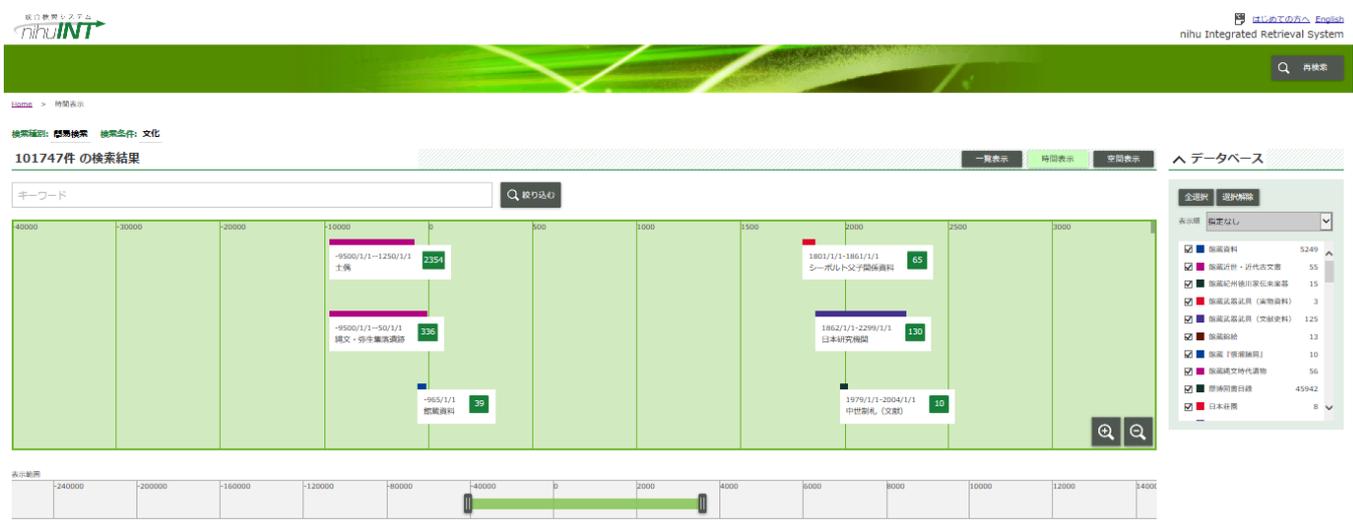


3.2.5.3 時間検索をする

時間範囲を指定後に、右下の「時間検索」ボタンをクリックします。



「時間検索」ボタンをクリックすると検索結果画面（時間表示）が表示されます。



3.3 検索履歴から過去の検索条件を入力する場合

検索履歴を選択する事で、過去の検索条件を入力する事が可能です。

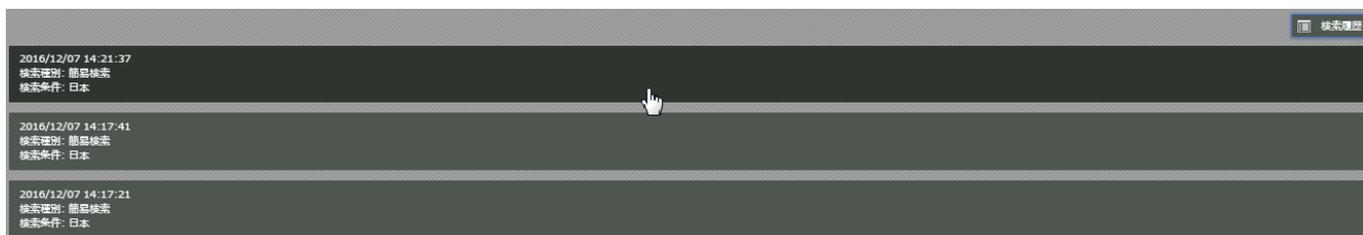
「検索履歴」ボタンをクリックします。



「検索履歴」ボタンをクリックすると、過去の検索データの一覧が最大 10 件表示されます。



入力したい「過去検索履歴」の上にマウスポイントを移動させます。
クリックすると、選択した検索履歴が入力されます。



過去履歴が入力された状態で検索ボタンをクリックする事で、選択した検索条件で検索が実行されます。

4. 検索結果を表示する

検索対象のデータベースを設定し、検索ボタンをクリックする事で、検索結果を表示する事が可能です。表示形式は4種類存在します。

- ①スニペット形式
- ②表形式
- ③空間表示
- ④時間表示

4.1 検索結果画面の構成

検索結果一覧は、主に以下の5つで構成されています。

The screenshot shows the nihiINT search results interface. Red callouts point to the following features:

- ① 検索条件の絞り込み: Points to the search input field and the '絞り込む' button.
- ② 検索結果の表示設定: Points to the '表示' (Display) button and the '検索条件' (Search Conditions) dropdown menu.
- ③ 検索結果切り替え: Points to the '表示形式' (Display Format) dropdown menu.
- ④ データベース一覧: Points to the 'データベース' (Database) sidebar on the right.
- ⑤ 検索結果表示: Points to the main search results list area.

① 検索条件の絞り込み

検索条件を入力して「絞り込む」ボタンをクリックすることで、検索条件を絞り込んだ検索が可能です。絞り込み検索の対象となるデータベースは検索画面で指定したデータベースが対象となります。

② 検索結果の表示設定

検索結果の表示方法を設定する事が可能です。サムネイルの表示／非表示や、表示文字数を制限する／しない等を設定することが可能です。またデータベースを変更する事が可能です。

③ 検索結果切り替え

検索結果画面の表示を切り替える事が可能です。

一覧表示では、「表形式」と「スニペット形式」の切り替えが可能です。また「空間表示」ボタン、「時間表示」ボタンをクリックする事で、検索結果画面(空間表示)、検索結果画面(時間表示)に切り替えが可能です。

④ データベース一覧

検索結果に表示されているデータベースを一覧表示します。

⑤ 検索結果表示

検索結果を表示します。

4.2 検索結果画面(スニペット形式)を表示する

スニペット形式ではヒットしたレコードの名称・題名とヒットした箇所をハイライトして一覧上で確認する事が可能です。



① 検索結果のダウンロード (KML 形式)

② データベース選択

③ 表示形式の変更

④ 詳細表示リンク

⑤ 原 DB リンク

⑥ ハイライト表示

① 検索結果のダウンロード (KML 形式)

検索結果から KML 形式でダウンロード可能なファイルをダウンロードする事が可能です。(ダウンロード可能なレコード数は 1000 件までとなります。)

② データベース選択

検索結果をデータベース毎に分けて表示する事が可能です。各データベース名のチェックボックスをクリックする事で選択、選択解除を行う事が可能です。

また以下のボタンをクリックする事でデータベースの一括選択や並び替えが可能です。

全選択: データベースを一括で選択する事が可能です。

選択解除: データベースを一括で選択解除する事が可能です。

選択を反映: 選択したデータベースで再検索を行うことが可能です。

表示順: データベースを並び変える事が可能です。プルダウンより以下の並び替えを行う事が可能です。

- ヒット件数の多い順: データベースをヒット件数の多い順に並べる事が可能です。

- ヒット件数の少ない順: データベースをヒット件数の少ない順に並べる事が可能です。

③ 表示形式の変更

表示形式を「表形式」「スニペット形式」から選択することが可能です。

④ 詳細表示リンク

一覧項目内のリンクをクリックすると各レコードの詳細情報を表示します。表示内容は「5. データの詳細情報を閲覧する」を参照してください。

⑤ 原 DB リンク

「原DBレコード」ボタンをクリックすることで、原データベースレコードを表示します。原データベースレコードとは、各機関が所有している外部サイトのデータベース情報を指します。サムネイルが表示されているものに関しては、画像をクリックする事で同様に原データベースレコードを表示する事が可能です。

⑥ ハイライト表示

検索キーワードに該当する部分がハイライト表示されます。

4.3 検索結果画面(表形式)を表示する

表形式ではヒットしたレコードの項目を列ごとに一覧上で確認可能です。表示したい項目の列を追加したい際は一覧タイトルの左にある一覧表示項目設定から可能です。

The screenshot shows the nihiu search results interface. At the top, there's a search bar and navigation options. Below that, a table lists search results. The table has columns: No., サムネイル (Thumbnail), モノノコト (Mononokoto), 原DB (Original DB), データベース名 (Database Name), and 種類 (Category). To the right of the table is a 'データベース' (Database) selection panel with a list of databases and their record counts. Above this panel is a 'ダウンロード' (Download) button. Red arrows from the callouts point to the 'ダウンロード' button, the 'データベース' panel, the '表示形式' (Display Format) dropdown menu, the '詳細表示' (Detailed View) link in the table, and the '原DBレコード' (Original DB Record) link in the table.

① 検索結果のダウンロード(KML 形式)

検索結果から KML 形式でダウンロード可能なファイルをダウンロードする事が可能です。

② データベース選択

検索結果をデータベース毎に分けて表示する事が可能です。詳細については「4.2 検索結果画面(スニペット形式)を表示する」を参照して下さい。

③ 表示形式の変更

表示形式を「表形式」「スニペット形式」から選択することが可能です。

④ 詳細表示リンク

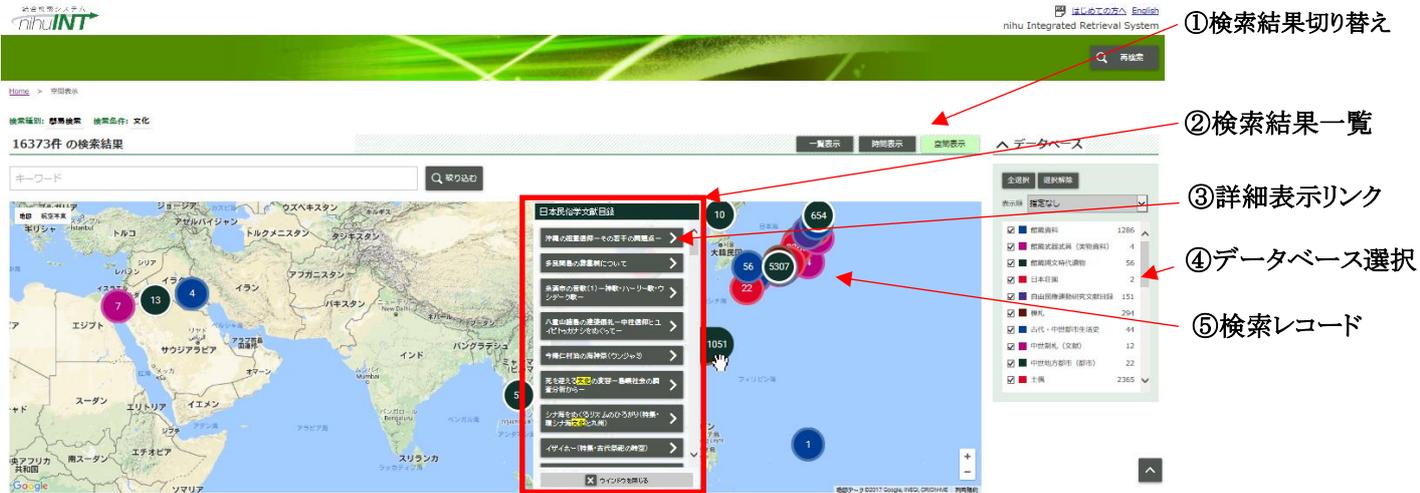
一覧項目内のリンクをクリックすると各レコードの詳細情報を表示します。表示内容は「5. データの詳細情報を閲覧する」を参照してください。

⑤ 原 DB リンク

「原DBレコード」ボタンをクリックすることで、原データベースレコードを表示します。原データベースレコードとは、各機関が所有している外部サイトのデータベース情報を指します。サムネイルが表示されているものに関しては、画像をクリックする事で同様に原データベースレコードを表示する事が可能です。

4.4 検索結果画面(空間表示)を表示する

検索画面で、「空間検索」ボタンをクリックすると検索結果画面(空間表示)が表示されます。この画面では検索結果から空間情報を抽出し、地図上の該当箇所をマークします。



① 検索結果切り替え

検索結果画面の表示を切り替える事が可能です。

「一覧表示」、「時間表示」ボタンをクリックする事で、一覧検索画面(一覧表示)、検索結果画面(時間表示)に切り替えが可能です。

※空間表示では、空間情報を保有するレコードのみが検索対象となる為、一覧表示の検索レコード数とは異なります。

② 検索結果一覧

検索結果が表示されます

③ 詳細表示リンク

タイトルをクリックすると、詳細情報を表示する事が可能です。

④ データベース選択

検索結果をデータベース毎に分けて表示する事が可能です。詳細については「4.2 検索結果画面(スニペット形式)を表示する」を参照して下さい。

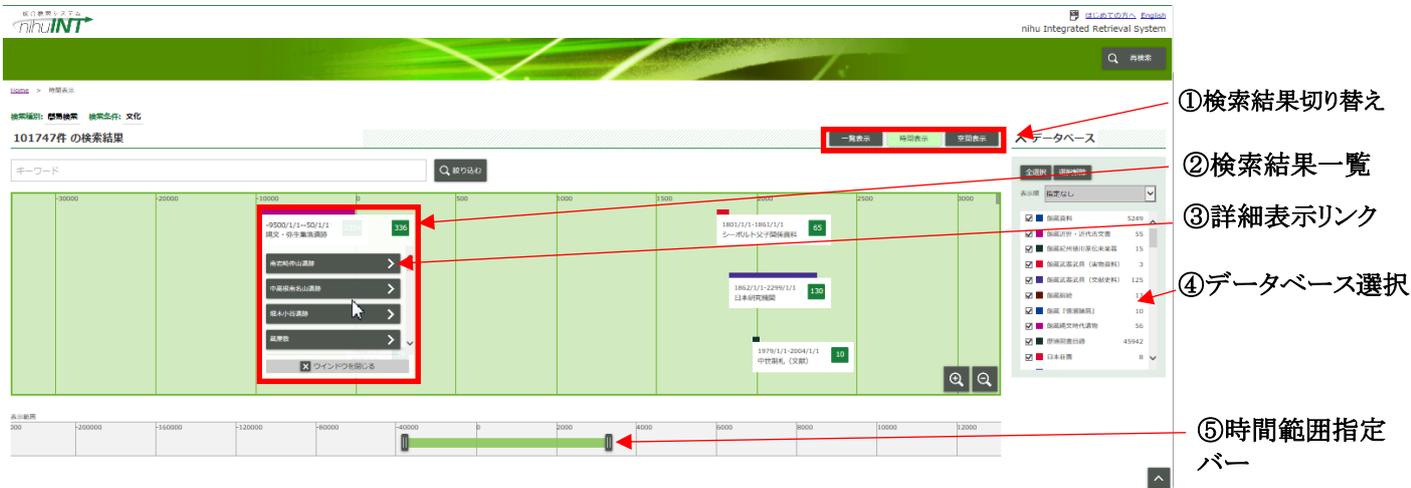
⑤ 検索レコード数

指定の空間内に存在する検索レコード数が表示されます。

数字アイコンをクリックする事で、検索結果一覧が表示されます。

4.5 検索結果画面(時間表示)を表示する

検索画面で「時間検索」ボタンをクリックすると検索結果画面(時間表示)が表示されます。この画面では検索結果から時間情報を抽出し、タイムライン上に該当レコードを表示します。



①検索結果切り替え

検索結果画面の表示を切り替える事が可能です。

「一覧表示」、「空間表示」ボタンをクリックする事で、一覧検索画面(一覧表示)、検索結果画面(空間表示)に切り替えが可能です。

※時間表示では、時間情報を保有するレコードのみが検索対象となる為、一覧表示の検索レコード数とは異なります。

②検索結果一覧

検索結果が表示されます。

③詳細表示リンク

検索結果一覧が表示されます。クリックすると該当箇所の詳細情報を表示します。

④データベース選択

検索結果をデータベース毎に分けて表示する事が可能です。詳細については「4.2 検索結果画面(スニペット形式)を表示する」を参照して下さい。

⑤時間範囲指定バー

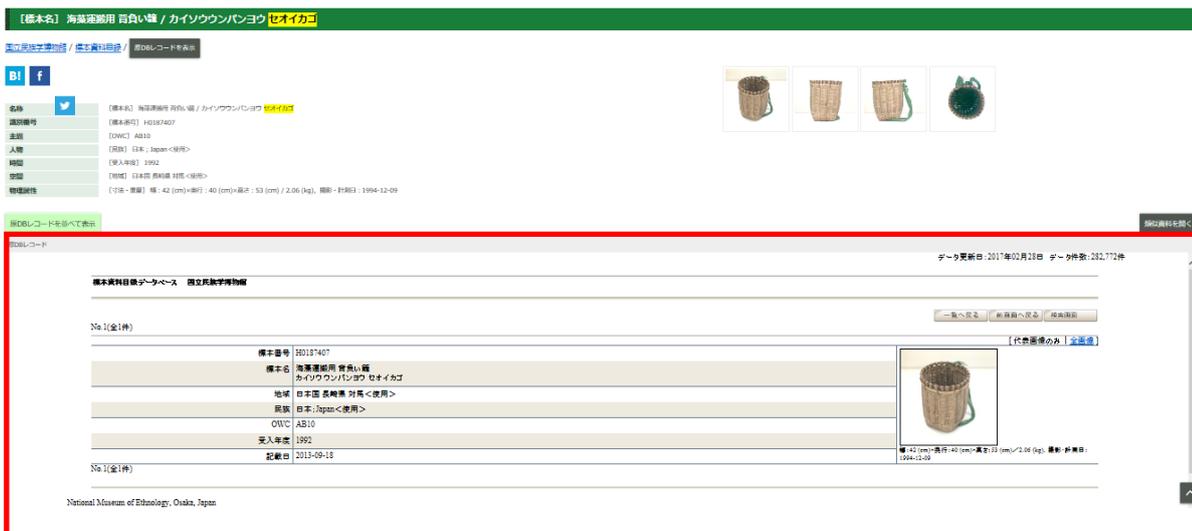
表示範囲を示します。また検索結果一覧に表示する時間の範囲を変更することが可能です。詳細な操作方法に関しては「3.2.4.2 時間検索範囲を指定する」をご確認ください。

5. データの詳細情報を閲覧する

検索結果(一覧表示)画面で詳細表示リンクをクリックすると詳細情報が表示されます。ここでは各レコードの詳細な内容を見ることが可能です。また SNS にシェアする事も可能です。



- ① 原 DB リンク
クリックすると原データベース画面を表示します。
- ② 次の資料へ
一覧表示から遷移した場合において、一覧表示上の次の資料に表示を切替えます。
- ③ SNS リンク
SNS ページに詳細表示画面の URL、タイトル、画像等のサイト情報を共有する事が可能です。
SNS は、はてなブックマーク、Facebook、twitter を使う事が可能です。
- ④ サムネイル
サムネイルをクリックすることで、原データベース画面を表示する事が可能です。
- ⑤ 原 DB レコードを並べて表示
原データベースの画面を詳細表示画面下部に表示する事が可能です。

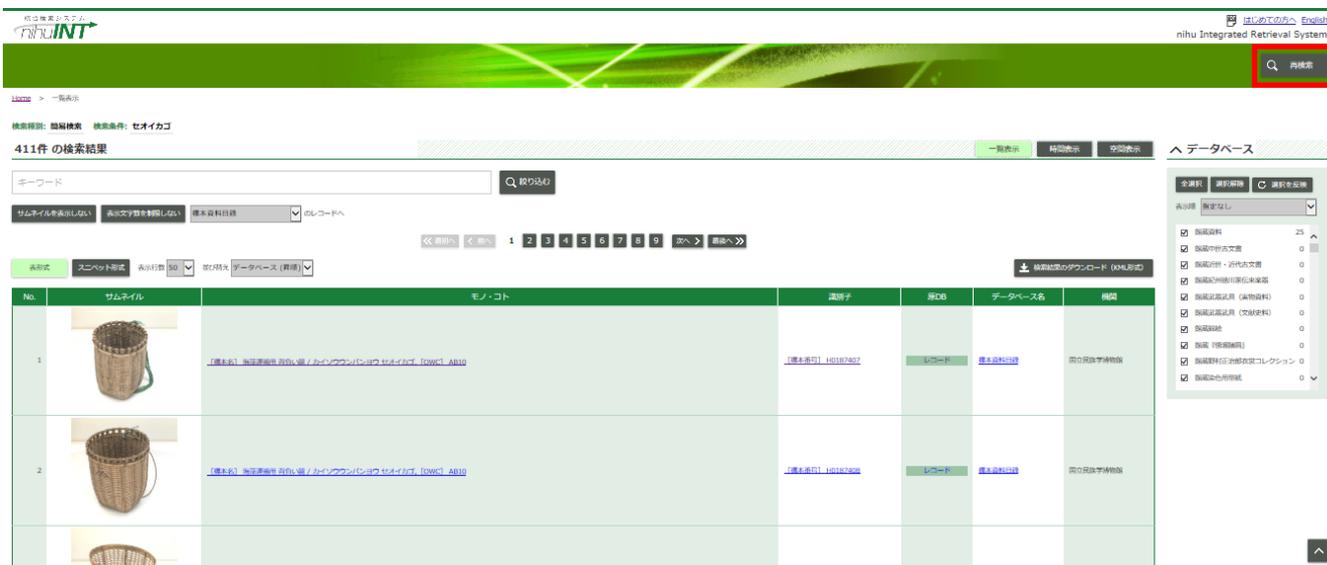


- ⑥ 類似資料を開く
キーワード等に登録された情報から、もっとも類似性の高い資料を表示します。

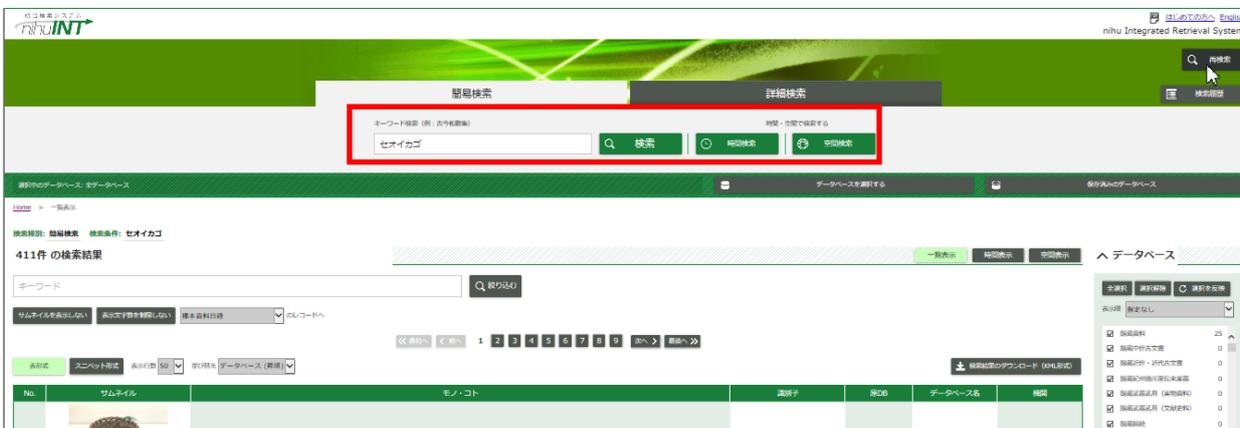
※⑤と⑥について、国立国会図書館、京都大学東南アジア地域研究研究所、国文学研究資料館の図書・雑誌目録は、表示対象外とします。

6. 再検索をする

一覧画面と詳細画面では、ヘッダーより再検索を行う事が可能です。
画面右上にある「再検索」ボタンをクリックします。



「再検索」ボタンをクリックすると、検索画面が表示されます。
再度検索条件を入力して、検索ボタンをクリックすることで、再検索を行います。
※再検索の際には、検索した検索条件が表示されています。



7. お知らせ画面を表示する

7.1 お知らせ画面を表示する

トップ画面よりお知らせを確認する事が可能です。
画面右下の News より、お知らせ画面へのリンクをクリックします。

The screenshot shows the nihuINT homepage. At the top right, there are links for 'はじめての方へ' and 'English', and the text 'nihu Integrated Retrieval System'. The main search area includes a search bar with the placeholder 'キーワード検索 (例: 古寺和歌集)', a search button, and options for '検索', '時間検索', and '空欄検索'. Below the search bar, there are buttons for 'データベースを選択する' and '保存済みのデータベース'. The 'Pick Up' section displays four featured items, including '発掘した考古資料コレクション' and two items related to 'ハーキム・モスク'. In the bottom right corner, a 'News' section is highlighted with a red box, containing the date '2017/03/05', the title 'ハーキム・モスク', and a link 'すべてを眺む'. A red arrow points from the text '②お知らせ画面へ' to the 'News' link.

お知らせ画面が表示されます。

The screenshot shows the 'News' page on nihuINT. The breadcrumb trail is 'Home > お知らせ一覧 > お知らせ詳細'. The main content area features a red-bordered box around the news article titled 'ハーキム・モスク' dated '2017/03/05'. The article text describes archaeological findings from the Harim Mosque site, mentioning the collection of pottery, stone, and metal artifacts, and the significance of the site as a historical landmark. To the right, a '最新のNews' section also lists the 'ハーキム・モスク' article with a 'すべてを眺む' link.

7.2 お知らせ一覧を表示する

お知らせ一覧を表示する事が可能です。
 ページを表示する場合には、「全てを読む」ボタンをクリックします。



②お知らせ一覧画面へ

お知らせ一覧画面が表示されます。
 (1 ページに表示されるお知らせの数は 10 件です。)

お知らせのタイトルをクリックすると、お知らせ画面に遷移します。



8.2 「初めての方へ」を表示する

「初めての方へ」ボタンをクリックする事で、当サイトの利用方法などを纏めた本マニュアルを開く事が可能です。



8.3 言語を選択する

言語の切り替えを行う事が可能です。

画面右上の「English」ボタンをクリックする事で、英語表記に切り替える事が可能です。

